知過

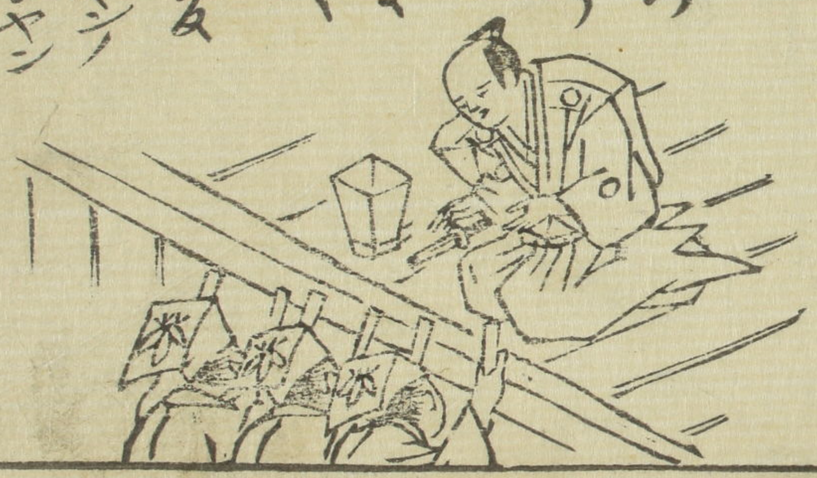
安政七庚申年

やまとや　京
やまとや　大坂
やまとや　江戸

特別
チ13
3849
61

役者揮撥

京 芝雨堂



門チ
3849
巻 61

京江條南仙芸兵衛殿番頭
名代早雲長芸文　於中嵐蔵之助
▲又左衛門　一世一代　農家奥の松まに家
一世一代
嵐　寿太郎
ちいさい　ちいさい　ちいさい　大人　狂言
▲主殿　濱松　弟
桜　上吉　濱松　吉平　弟　藤
どこ　紙屋出てもあのよう　中山　貴之　弟
上上吉　やつしぐさよいそう　擬
上上上　中山　貴助　喬
週　あのさげのよい
上上吉　嵐　三六　弟
ぐんぐんと　祝文の長と　紀
上上　濱屋　山次　弟
上上　濱　とうく　行
名相撲　弟

上上　芦　ものうれるとうきあげる　鶴
　　松　小次　弟
▲数　師匠　とうつと　貫
上上吉　三桜　松太　弟
いつでも　ぐんぐんとうけさぐる　源
上上上　嵐　吉八　萩
名手の　風　中村　元蔵　弟
上上　中村　元蔵　弟
出　ちいさい　弟
上上　濱屋　太郎　振
ちいさい　大和山　喜三　弟
上　ぬりひいつでもおうい　鶴
上　陸尾　吉蔵　王　三桜　源次
上　中村　福蔵　王　嵐　又八
上　嵐　七五三八　王　水谷　三八
上　芦谷　源平　弟　濱川　兄　弟

上上 清尾吉兵衛殿 上上 中村喜兵衛
上上 三林又右衛門殿 上上 中村吉八
上上 中山治右衛門

▲義如形之部

極上吉 沢村国之丞 竹柏
地蔵と飛まとゝ紙のゝ
上上吉 喜蔵義蔵 水鏡
にゝなぞどゝりのゝゝ
上上吉 義川友吉 [illegible]
ぐんどゝりゝゝやゝゝゝゝ
上上 嵐菊次郎 沢地
いつでもふゝぐゝゝゝゝゝ
上上 榊山雅楽 [illegible]
うゝゝさゝゝゝゝゝゝゝ
上上 山下秀次郎 [illegible]
あゝらゝのゝゝゝゝゝゝゝ
上上 山下楽蔵 [illegible]
一夜い蔵て[illegible]

上上 [illegible]
上上吉 山下八百蔵 [illegible]
一嵐金介 [illegible]
一山下宗次郎 一嵐宗三郎 [illegible]
一中村市之丞 一喜蔵義蔵 [illegible]
一喜蔵義蔵 一山下松之助 [illegible]
一山下浮之丞 一尾上宗次郎
一中山由次郎 一喜蔵義蔵

子役

嵐熊之助 [illegible]
[illegible]

大吉 [illegible]
[illegible]

▲藤子方之部
一長次 沢本万蔵 一義次 [illegible]
同 同沢和次郎 一門 [illegible]

一覽　結城藩士　一覽　二條藩士
一門　森川氏士　一ハ　岩槻藩士
正ぐ　谷口某他　一ぐ　和田某
天報　吉田金兵衛　天報　安藤長兵衛

▲花会俳諧

並点者助
並点者助
嵐　雪
嵐　之曉
嵐田門　喬

千鶴子集

[illegible]

京問屋師匠四天王

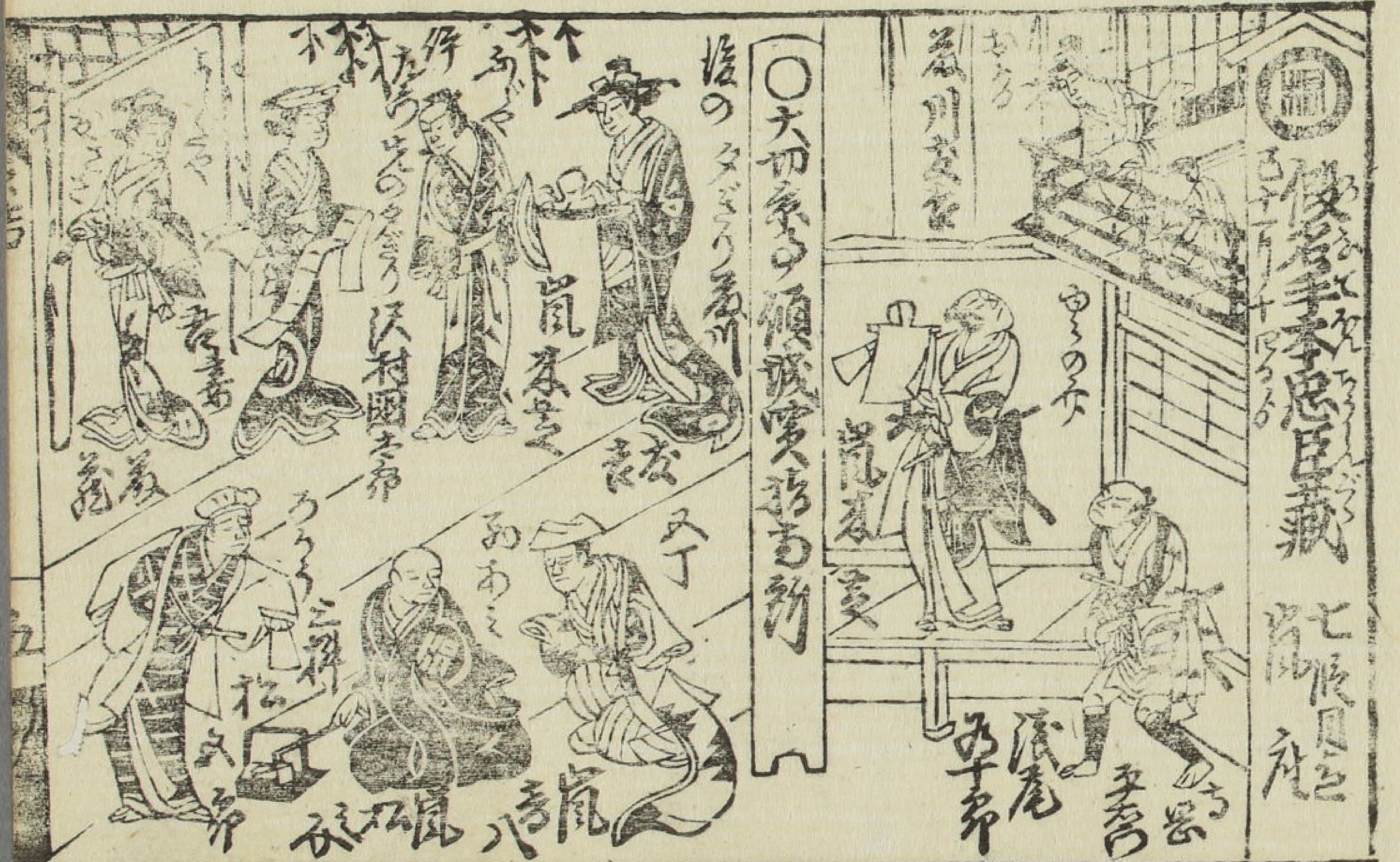
張張風　[illegible]　上中下
[illegible]　上中下

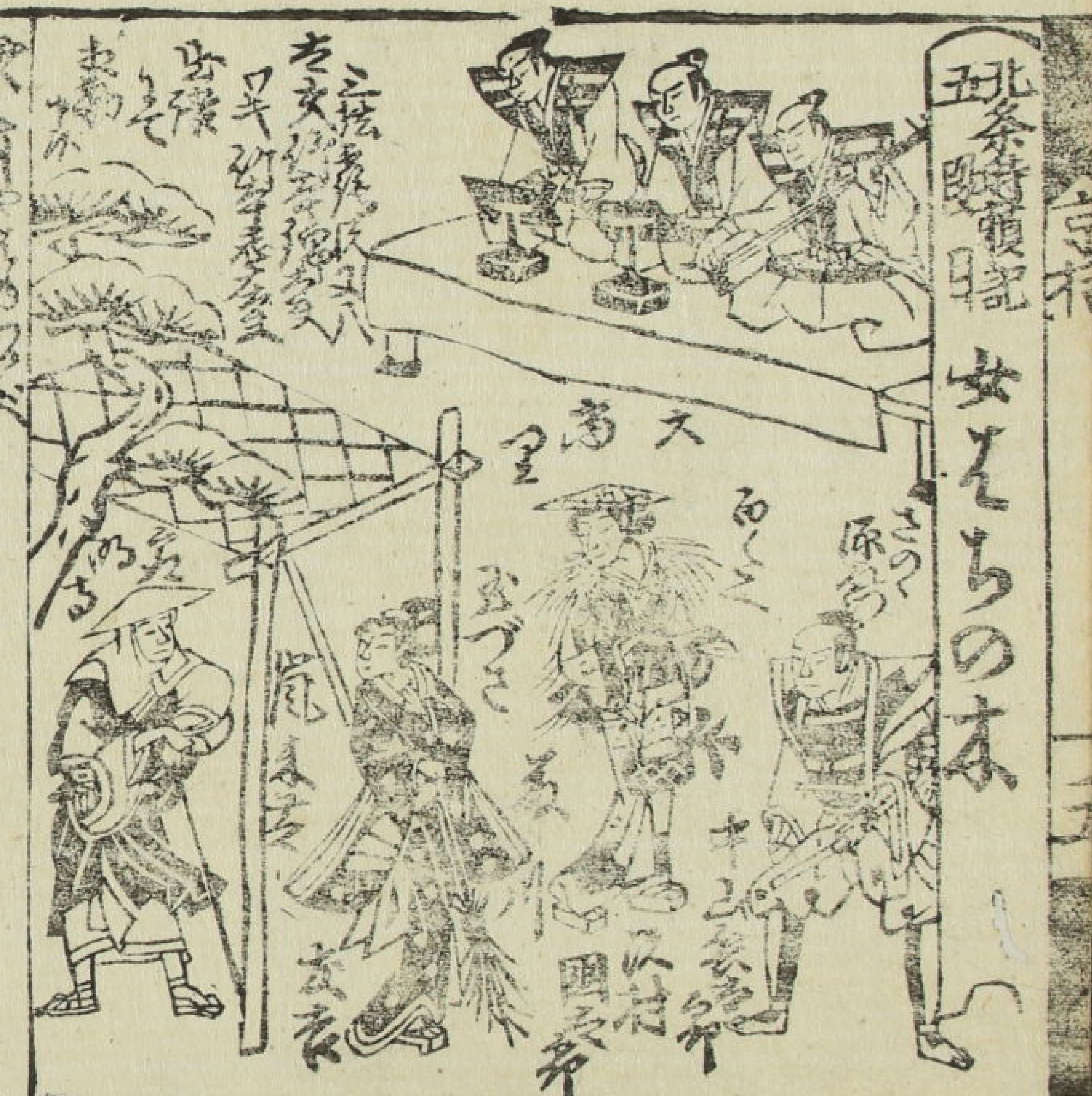
▲法役　嘱雑

上上吉　中山　猪八　法役
上上吉　嵐　大三郎　法役
上上吉　[illegible]　[illegible]
上上吉　嵐　[illegible]八　[illegible]
上上吉　[illegible]山　[illegible]松　[illegible]
上上吉　嵐　助又郎　法役
上上　小佐川氏義　法役
上上　中村　先人　[illegible]
上上　嵐　松三郎　[illegible]
上上　嵐　[illegible]　[illegible]
上上吉　沢村国[illegible]　[illegible]

[illegible]
細評[illegible]

積雪都


仮名手本忠臣蔵



役者稽古[illegible]

○一世一代　嵐来芝　嵐[illegible]　京之巻

三ッ子 嵐吉三郎事

[京中筑]頭取 このたびは十月より勤めらるゝ

一世一代との事ゆへ京都の芝居[illegible]

御ひいき[illegible]今やくとも[illegible]正月を待

ゆへみなみなで[illegible]より[illegible]

よりの[illegible]一統[illegible]

[illegible]そ[好見][illegible]

[illegible]でござります[三[illegible]]大

坂[illegible]の[illegible]今

[illegible]のたのしみが

[illegible]つく[illegible]が

めでたや 因[illegible]

[illegible]

[illegible]大坂の[illegible]

[illegible][好見][illegible]

[illegible]

[illegible]の孫

[illegible]と

[illegible]して

茶屋の因力にてきりをせり新町ぬ
にて段々としての内かしこより大
切の所役にてやつしの事とも
見物がよろこびました 大段寺 二段
目の与三が母はおのしろうんを云ひ
の所がれもと親子きうくんる今
おしこえる事ていひましたが
二の口り百々のる時門白浪に天下
屋得意ものと荻藤兵衛の所の荒
役せうと二段目にて大切けいせい實
指南所とりふ京事にて中んの
ふくり其後段の中ぞう 兄弟
よしづやおきさぬ園役目にての弟い
若気がし芸をそり勇る所の縮緬
見てけいせい實の指南して門人

小田原中山登空子 坂東市丸 篠塚三人小判の責をとこ
ての縁こそより明り趣やあって藪おもきよく
とそれ以後衆に其る恨て由るの月の朝臣
去りし後を宮巴五星を投三人共ての所は
仮名手本さすの色事師のおやまやつし
の身と儀ありて是れ見物かんだ
全躰の二日の狂言今とさゝしき事当
なくさのこと大入といふもなく満足に
おもひし事をまだ右狂言まで二月十六日
因より五時の目の狐ってすとこで下盛
てより門人並五つき一世一代の新作
の二れのよ大き踏らね 是まで嵐年
新ろさ狂言をそへたのまんと
読におあもし初鳴子答といふるや何よ
たとへんをかうの見物きあさきく大小

[illegible]
どぐ〳〵やうく十日ばかりのほどをのべて
めでたくも[illegible]を終めらきて[illegible]
おもしろきことにひかれて[illegible]
のさてゆく[illegible]の[illegible]
の[illegible]ゆく[illegible]の[illegible]
んとまする[illegible]おそれおほく[illegible]
ようの[illegible]やつうのふ[illegible]し
[illegible]をやとまりすくのほとん大坂中一統よ
かんぐんなりくめかりぶまれ世をまれ
西国三十三国の[illegible]
の西国[illegible]
[illegible]
〳〵[illegible]

たく日条南ぶ八之長よりまりさく[illegible]
[illegible]
とのまぶけぶりようく東中一統ふ[illegible]
ひかれ方ようく猿[illegible]のおびたゞさ国とおぐろ
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
初日もひきうく[illegible]
[illegible]三番続下の巻出勅の[illegible]
勅[illegible]
中山　[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

切八丁と落を[はじ]さまざまにみ立て廣川が書て十二月
の年中行事の評判ますます花々しく進みや
まうるゆゑ見物も今の大ぜいなりき押かける手打さらに
も前尾根七日勤らるまでが評判の忠臣蔵
る出るといふてさもお目見へもおかしく
かくござる所へ来る戌月十四日より顔見世で
仮名手本忠臣蔵大序より七段目までの狂言
是又間もなく大入にて続きたる狂言ますます
の役ひとり大星由良之助を役者もよく塩冶判官の
場へ出かけたまよう城源への評定なりて浪人
城をあけわたすのくまなく見物も聞かくのさや
ありてかくとまうまう婆を引くまもなく
五分よく相手再生きまうまう花も一ぱいになりて
茶屋場の和らぐ八百文字よりも味ひ
深くおそよあくるまで切見一統の思ひあたりまへなれ

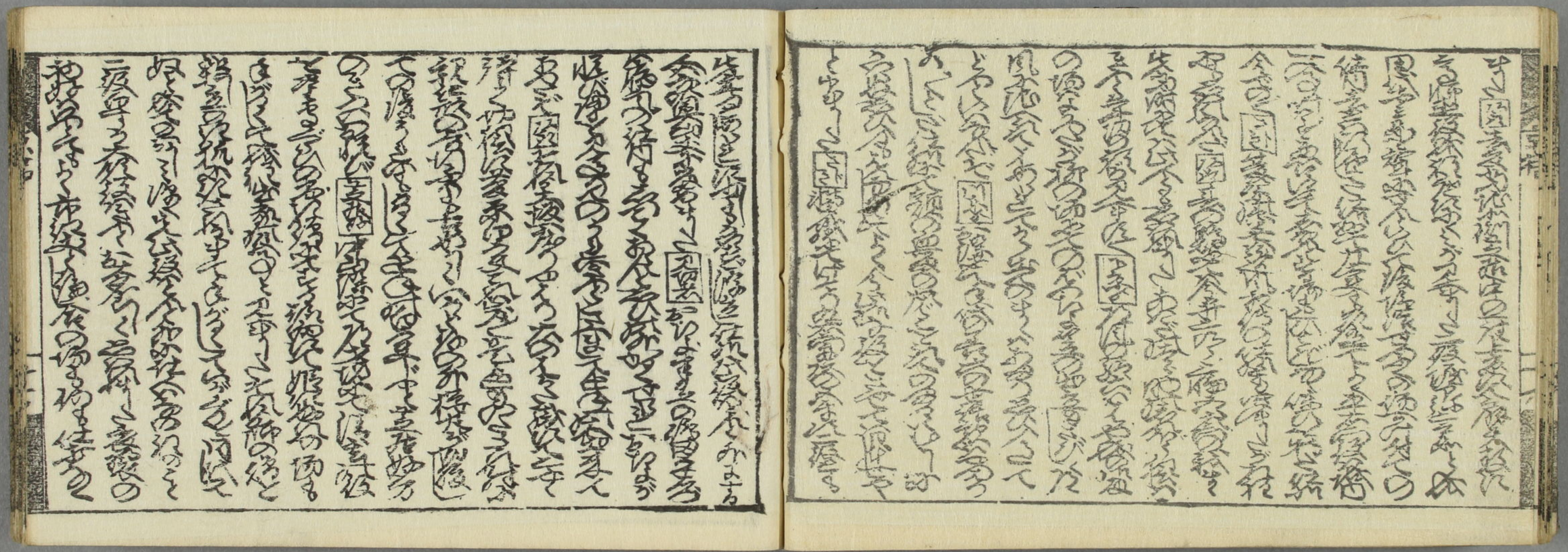
ある[門條]役者が立役の中より東向の役を
まるく御見物をはじめお目にかけ[上上吉]
役者が見物は立役も見へ立役者に
まず別て奉行役見物方へ出かけるも
役で氣の附の目にも見える役を見せかけの
通り付るも出来の役ゑがいてよく出来ますと
笑ふ[角]者に[上]にて[上家]の半分を両役者
役者も立役宇役に[下家]城源ヶ
見物も気がまへの[中家]城源の
役の場の役者[上]の役者もも氣のさ
出る出入の役者の役者が出て[ととの]役
喜一番の場の役者の役者がさくまで
出でよろし[宇家]役者の役者の見物も
あたり見物よろしく役者も悪く
[婦臼]三番の役者の役者を見物もかへすとやらの

の方と申せし者嫁入がかみの元へ【ときわ】
三代目の弟子ともいはれしの方もともに嫁
さんを【及九】もとの先祖は関三ゟの
おもてなく嫁入とかゝ御母の嫁並をゝの
大和屋の女房のとまかく申ろくも[illegible]
須田のいも【三五郎】松の樹のもと無台を踏
中村の[illegible]よりしも芸を見る[illegible]
の上は[illegible]小とゞろく二番目渡り入
をこの[illegible]くゝ元[illegible]を見て[illegible]
宮[illegible]の[illegible]なしと無[illegible]
よき三代目の無数の松ゟとまくてゝ見ん
事のみ[illegible]も夫　お[illegible]山谷をもつ
と[illegible]かゝ[illegible]を[illegible]ことはる
心くもり[illegible]て[illegible]すまハおもりゝ
うき[illegible]ことをもくく

【及九曰】切狂言ハ今ハむかし姥すて衣瀬川といふ
けいせいを夕く狂言ハ大坂中く南畫の噺し
鳴物白浪を二場出して口明ハ夜や済まで
しかし女年まへの忠る師のめぐみの
仕うちをよくせて恩ぞ義をおもくせ
やつしの為とゝの評判申く次ハ鶴寿を
とりくかごの者ふ命をもらしくぬれ人を
おうしこよく死ちつ事く傘をかつけて死
をやくへくの志ざしつ待ちくかくらんらん大
切ハ傾城鑑へ梅園の恵事ハ[illegible]人のけいハ
せい里の梅園をまつりて和考[illegible]三味線
虎来[illegible]松さんに三人を[illegible]おひての[illegible]
の名方人を合後の名方ハ花友とした[illegible]
おとさき[illegible]園松ひ人の[illegible]時[illegible]
いらひてのさゝ一和仮名の[illegible]の[illegible]

のこやむかしく大仏殿の[illegible]のまくよ
て[illegible]ぶつへ一世一代の[illegible]の一[illegible]
の[illegible]所も[illegible]
[illegible]をおしてで[illegible]
[illegible]今[illegible]
[illegible]の[illegible]所[illegible]
[illegible]八[illegible]大[illegible]大入八
[illegible]
[illegible]
三五郎の[illegible]
[illegible]七[illegible]
[illegible]の[illegible]浪花の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]

[illegible]上上吉 △ 立役之部
[illegible]　㊁　[illegible]
[illegible]



上上吉

[illegible]

[illegible]

上上士　中山来助　嵐元

[illegible]

上上士　嵐之五郎　嵐元

[illegible]

上上　㊀　武蔵国秩父郡　荒社

上上吉　㊀　武蔵国秩父郡　荒社

上上　㊀　武蔵国秩父郡　荒社

上上　㊀　武蔵国秩父郡　荒社

上上士　㊀　岡　書八　[illegible]

上上　中村元義　岡元

[illegible]

△黄金形こ　郷

極上上吉　㊀　沢村国多郎　岡元

[illegible]

[illegible]の[illegible]

の侍[illegible]にて[illegible]

[illegible]大[illegible]

[illegible]の侍[illegible]

[illegible]の侍[illegible]

[illegible]のおくれ[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]の[illegible]のえ

[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]の

[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible]

[illegible]

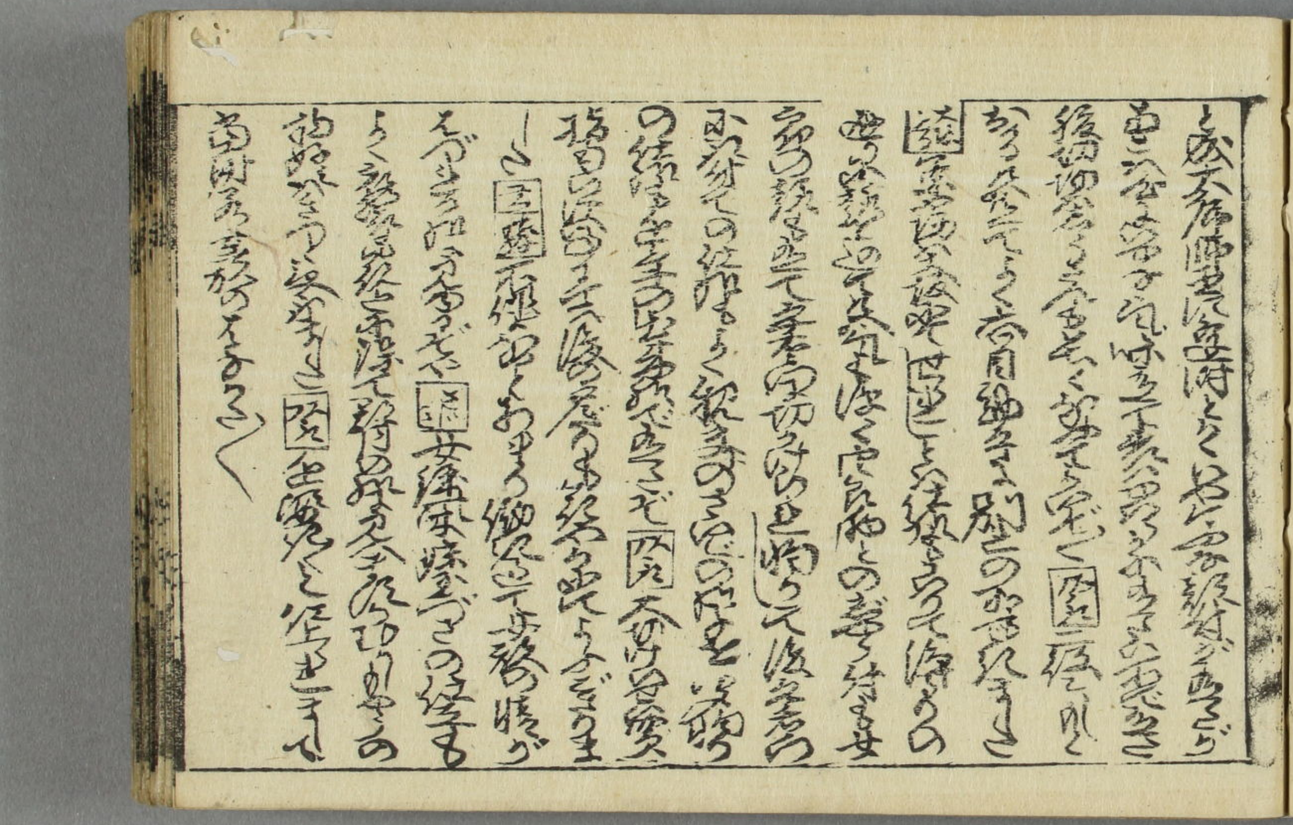
上上吉 〇一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉

長川友 貴



上上 （紋） 嵐[illegible] 嵐外

[illegible]

上上 （紋） 榊山雛松 嵐外

[illegible]

上ノ （紋） 山下秀次郎 嵐外

上ノ （紋） 山下[illegible] 門弟

上ノ （紋） 吉[illegible]三郎 門弟

[illegible]

上上吉 （藏） 山下八百蔵 嵐外

[illegible]

子役　桐　嵐熊之助

[illegible]

口一寸とやとまを　作者　八文舎自笑

嵐三五郎一世一代 [illegible] 許紀

桐の清屋　全部二冊

[illegible]

寛政十年午三月発行

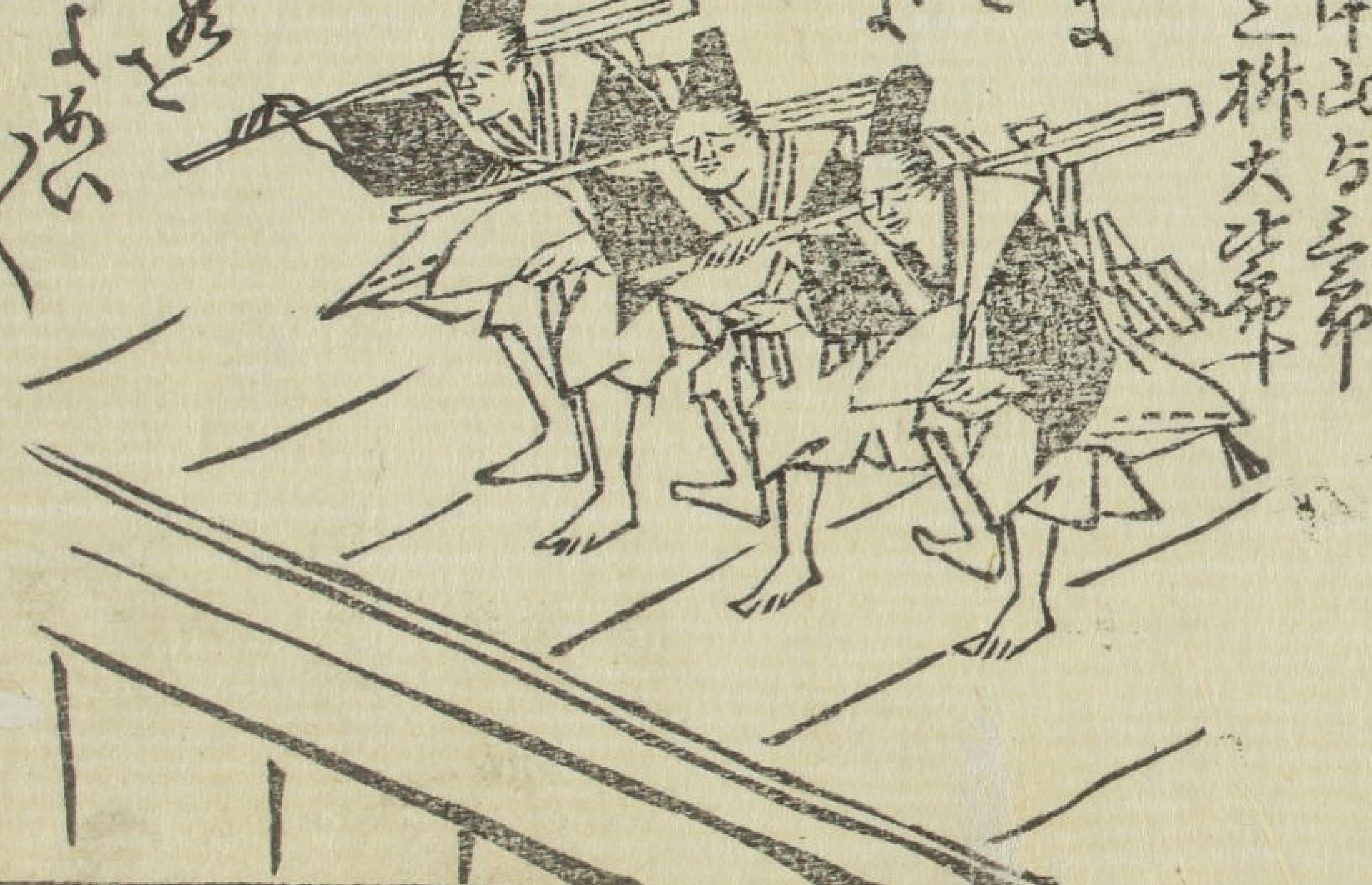
八文字屋八左衛門板

役者稽撰　大坂之巻

[illegible] 中山与三郎　三桝大五郎

芸の旅よ 猿と あそぶ 三社の 祭り [illegible] 御名を さよめく

[illegible]



大坂三座之番附後者同様
絵代の三番　大坂之分　社長中山文七三郎
錦の三番　大坂之分　社長三桝大吉郎
錦の三番　社長竹田因幡
絵代拵ず表紙の
水の彩代三番

▲去年役者帝

○凡三番目　中山文七　中村氏
上上吉　どこでも市川彩四郎　姉川彩四郎
上上吉　佐野川市松　関三十郎
上上吉　る市役者帝　嵐長三郎
上上吉　義経の仕出し　中山文七　中村氏
上上吉　どこでも市川彩四郎　坂東三津五郎　中村氏
上上吉　坂東三津五郎　中村氏
上上吉　るのお役者帝　嵐七人　行田氏
上上　市川八百蔵　三桝氏
上上　やっしーの仕出し　中山文七　行田氏
上上　中村氏　行田氏
上上　嵐彩平　三桝氏
上上　勝川年　御贔
上上　尾上綾蔵　行田氏
上上　大三郎　中村氏
上上　市川三郎　角二上　沢村宗十郎　角
上上　嵐彩三郎　尾上鶴三郎　行田氏
上上吉　出ないつでもあります　猪名川
上上吉　▲　実　西　役者　行田仁右衛門　中氏

切上吉　山村流右馬　竹翼　井戸
上上吉　山村流右馬　中尭　[illegible]
上上吉　[illegible]　三林尤　[illegible]
上上吉　[illegible]　中村流右馬　中尭　[illegible]
上上　[illegible]　[illegible]谷伴[illegible]　竹翼　[illegible]
上上　[illegible]　[illegible]　[illegible]
上上　[illegible]　[illegible]　[illegible]
上上　[illegible]　[illegible]　[illegible]
上上　[illegible]　[illegible]　[illegible]

上上　[illegible]　三林流人　[illegible]
上上　[illegible]　[illegible]　[illegible]
上上　[illegible]　[illegible]　[illegible]
上上　[illegible]　[illegible]　[illegible]
上上　[illegible]　[illegible]　[illegible]
上上　[illegible]　[illegible]　[illegible]
上上　[illegible]　[illegible]　[illegible]
上上　[illegible]　[illegible]　[illegible]
上上　[illegible]　[illegible]　[illegible]
上上　[illegible]　[illegible]　[illegible]
上上　[illegible]　[illegible]　[illegible]
上上　[illegible]　[illegible]　[illegible]

上上 坂東彌五郎 市川團三郎
上上 嵐市五郎 中村傳次郎
上上 嵐市五郎 市川團三郎
上上 嵐德三郎 三桝宮蔵
上上 中村吉蔵 谷村吉郎
上上 嵐源次郎 坂東玉三郎
上上吉 中山文五郎 中村
上上吉 嵐源次郎 嵐
上上 ▲頭取 嵐三郎
上上 坂東彌十郎 中村
上上 嵐 嵐三郎
上上 ▲義経 山下京右衛門 中村
上上 中山文五郎 中村
上上 ▲義経 中村
上上吉 ▲義経 坂東彌五郎 中村

上上吉 下まハ女形の 三桝
上上吉 おくハ義経 三桝 中村
上上吉 どーもで 中村 三桝
上上吉 ハるハ 市川 菊八 竹内
上上吉 ゆるう 中山 一陳 中村
上上 いつでも 嵐 義経 三桝 士郎
上上 武蔵坊弁慶 嵐 四市 竹内
上上 ゆるとゝ 芳沢万代 中村
上上 不法のあ 河 三右衛門 三桝 後藤
上上 芳沢國次郎 中村

上上　山下桑松　三枡屋
上上　花菱仙次郎　三枡屋
上上　嵐源之助　中屋
上上　中陸次郎　中屋
上上　中村藤吉　中屋
上上　中村藤代　竹屋
上上　山下金作　中屋
上上　▲娘形　中山与三郎　三枡屋
上上　中山与三郎　三枡屋
上上　三枡大次郎　竹屋

上上　中村福之郎　中屋
上上　▲美濃方　中山与三郎
上上　市川団三郎　中屋
上上　中山猪之吉　中屋
上上　中男丈　中屋
上上　三枡民之助　中屋
上上　嵐松之助　三枡屋
上上　●蒟蒻　巻尾
上上　嵐雛助　三枡屋
上上　●蒟蒻　巻尾
上上　市川団蔵　中屋
上上　▲中山与三郎　中屋

一嵐川猪之部　一中山高表さこん
一坂本岩之部いも　一花桐高松みぞう
一山下長谷部　一中山清水部
一沢村岩長谷　一義川元表口
一山下石市口　一義伏見松口
一市川園之分口　一中ヒ久一口
一中山久表口　一小川表松口
一嵐万表口　一嵐高義口
一山村門部口　一義川長松口
一嵐宮之分口　一中山清表口

▲之排産数子之分

一中山茶松表分　一清尾吉部　五人
一嵐秀之助　一市川藤部　三人
一嵐忠次部　一尾上猪吉
一表高宮部　一尾上高吉口
一山村長助口　一嵐文部口
一中山吉兵部口　一嵐弱表口
一花村仙吉口　一嵐岩之助口

一嵐高表口　一中山猪松口
一岩沢長部口　一秋井工義口
一岩沢長部口

▲竹田久子のこと

一中山長之部　一嵐長兵部
一中村金部　一市ヒ表義
一山下長松部　一尾上高吉

▲狂言作者之部

京川鶴助　一
並木正三　一
海老蔵　一
田辺藤七　一
並木宗義　一
並木宗義　一
辺松徳三　一

中山産

釜井和表
並木宗義

之排産

釜井和表
並木宗義

京河七五三助

行国庄　通塞弥範　京河歌助　京河九二助

子秋鳥　紫楽一条

不出　立役　行国京四郎　三桝元

○一寸とやつす

一此ほどその若女形浅尾為之助去秋八
京顔見世より勤められ此度
出勤まして…

寛政九巳年八月廿八日

林学宗悟信士　浅尾為之助　行年　日蓮宗

役者揃輝　大坂之巻

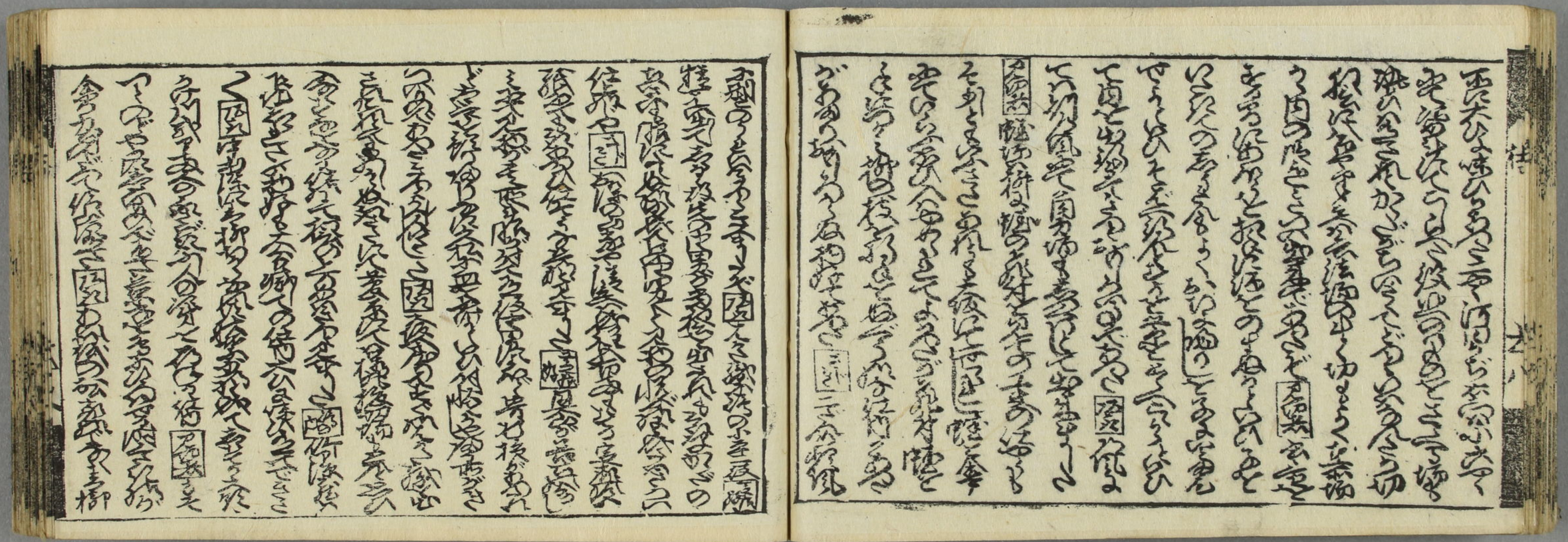
立役之部

上上吉 ▲ 中山文七　中山座

山鼠組　今日の出しものの…

其の上お若く実事男の狂言中でいひ分もなぞや
[わる口] [illegible] [ひいき] その[illegible]見せ
く [頭取] 其通りで御ざる [illegible]
去[illegible] [illegible]
小[illegible] [illegible] [illegible]
[illegible] [illegible]
くしてよろしく [上町] [illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible] [ござ] [illegible]
る[illegible]
[illegible]
[illegible] [illegible]
の[illegible]師の[illegible]で [illegible]
[illegible] [illegible]
[illegible]

いかく [illegible] [illegible]
[illegible] [illegible]
[illegible]
の[illegible]
[illegible]
[illegible] [頭取] [illegible]
[illegible] [illegible]
[illegible]
[illegible] [頭取] [illegible]の一
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible] [illegible]
の[illegible]



上上吉

婦り新ぼ年　小の流

上上吉

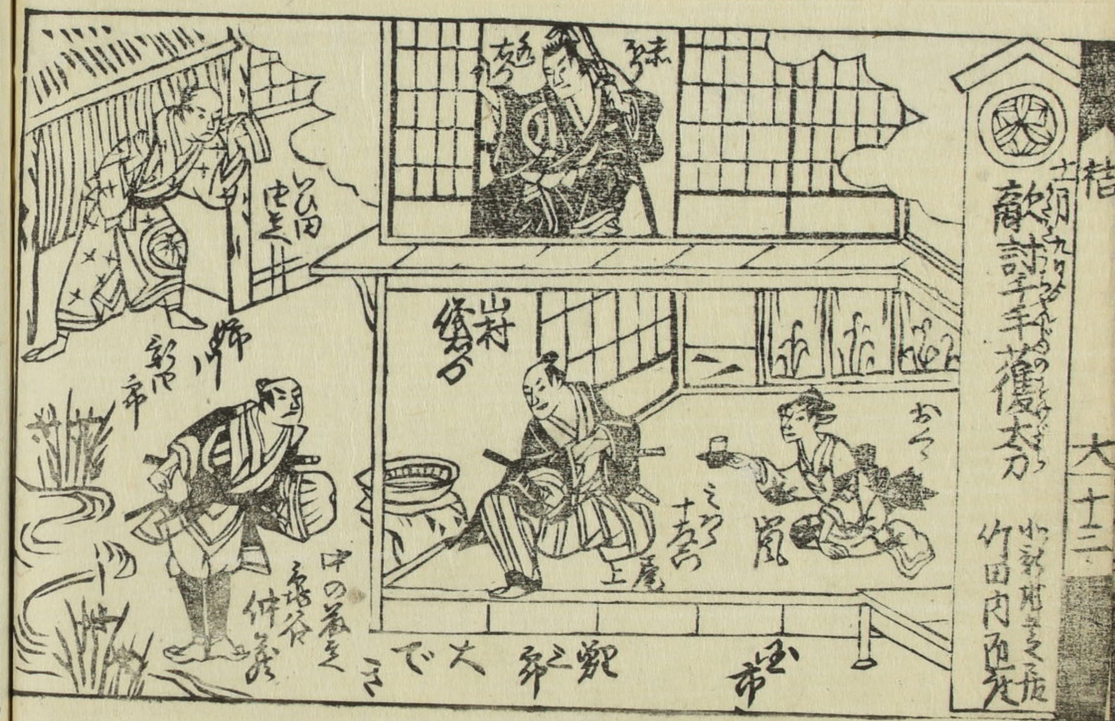
開三十年　六月廿日

上上吉

開五年三月　中旬

上上吉

中山之大名　中之大


結
敵討手柔優太刀
小野川喜之丞
竹田内西之丞
大十三
嵐
上尾
中の義之
長谷仲義
小野川
常市
岩村
常市

○芝居初日まつり行の図

上上　卍

[illegible]

上上　[illegible]　荒川　八郎　三秋先

[illegible]

上上　[illegible]　嵐　仙人　[illegible]

[illegible]

上上　[illegible]　中山　文人　三　三秋先

[illegible]

上ノ下

中村氏義　小口義光

上

嵐新平　三林先

上

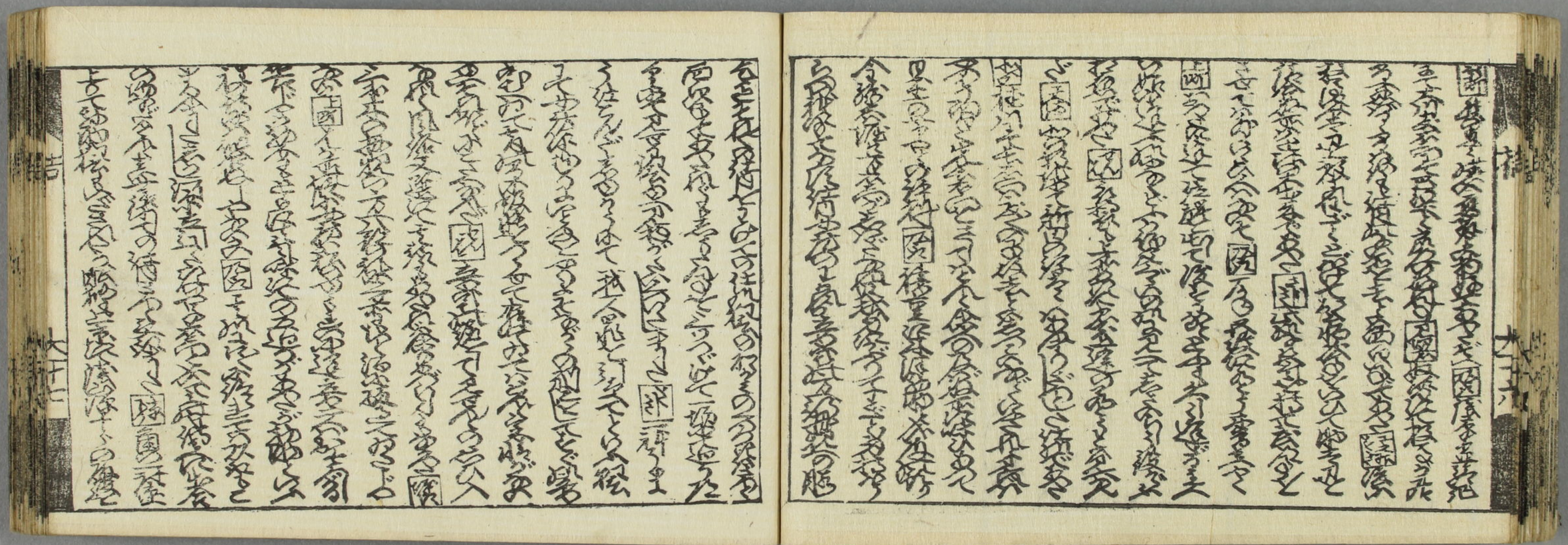
屋敷弦之丞　小口新地

上

尾上鯉三郎　小口新地

上上上

尾上鯉三郎　小口新地

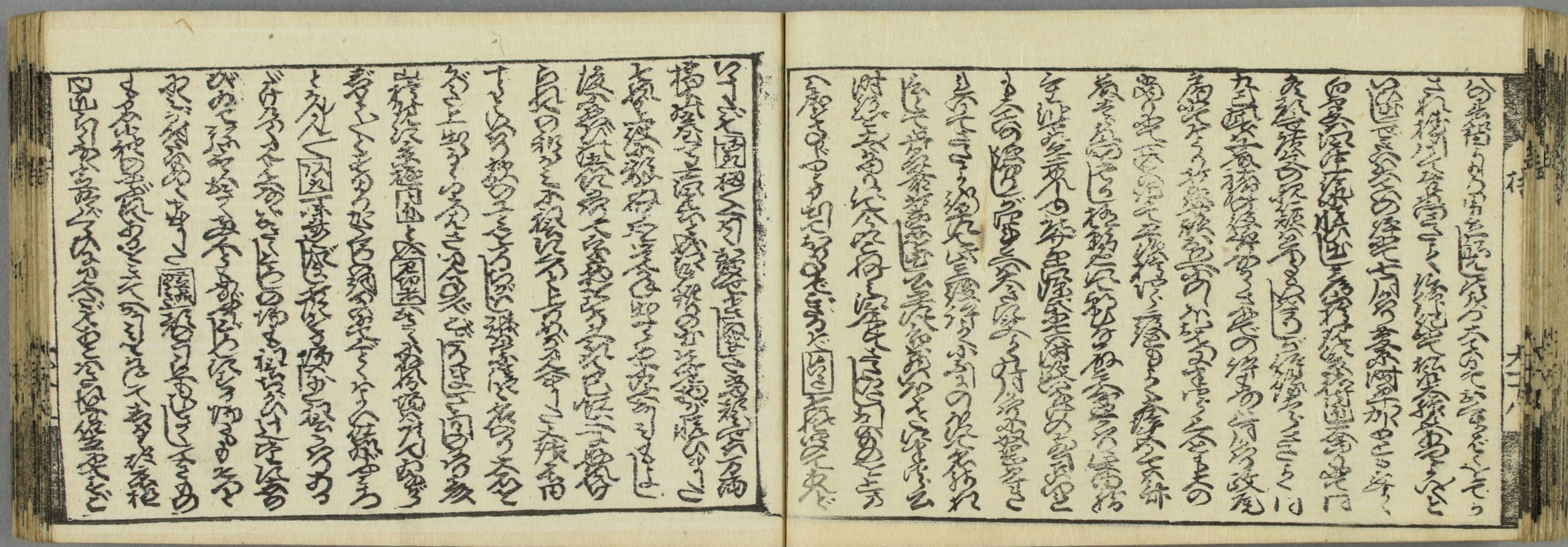


▲ 實ハ原ハ

上ハ一言

片岡

中山社



[illegible]

上上吉 山村儀右衛門 [illegible]

[illegible]

▲敵役之部

上上吉 山村友右衛門 中山社

[illegible]

上上吉 浅尾為三郎 [illegible]

[illegible]

上上　宇村歌合

上上　音羽次郎三　少弟

例年一流に歌九首ずつ

上上　中山文武郎　中山九

上上

▲頭取こ弟

上上　二條本家　中山殿

上上　坂東岩長　宮殿

上　肖風　源義　二條殿

[illegible]

▲若女形こ弟

上上吉　方沢いろは　中山殿

[illegible]

[illegible]

上上吉　三排德決命　三排月

上上吉　中村家三郎　山の井氏

上上吉　中山　一德　中山氏

上上上 ㊀ 姉川角八

上上 桐 嵐 松

上上 嵐国市

上上 稲 芳沢万代

上上 ㊁ 河三郎門

上上　芳江園茶　中山先

上下　山下亀松　二株社

上下　[illegible]　中先

上下　[illegible]　口社

上上　山下清次郎　口社

上上　中村君助　少先

上上　中村彦代　口

極上上書　山下金作　中山先

上上　[illegible]　口社

▲ 姫形ゝ社

上上　中山ゝ三郎　角の社本

上上　三林天ゝ郎　赤の社本

[illegible]

上 嵐松之丞 三桝元

上 中村福五郎 中元

頭取 [illegible]

▲若女形之部

上上吉 市川団三郎 中元

頭取 [illegible]

上上 中山[illegible] 中元

上上 三桝民之助 同元

頭取 [illegible]

[illegible]

上上吉 ○ 若巻尾 嵐雛助 三桝元

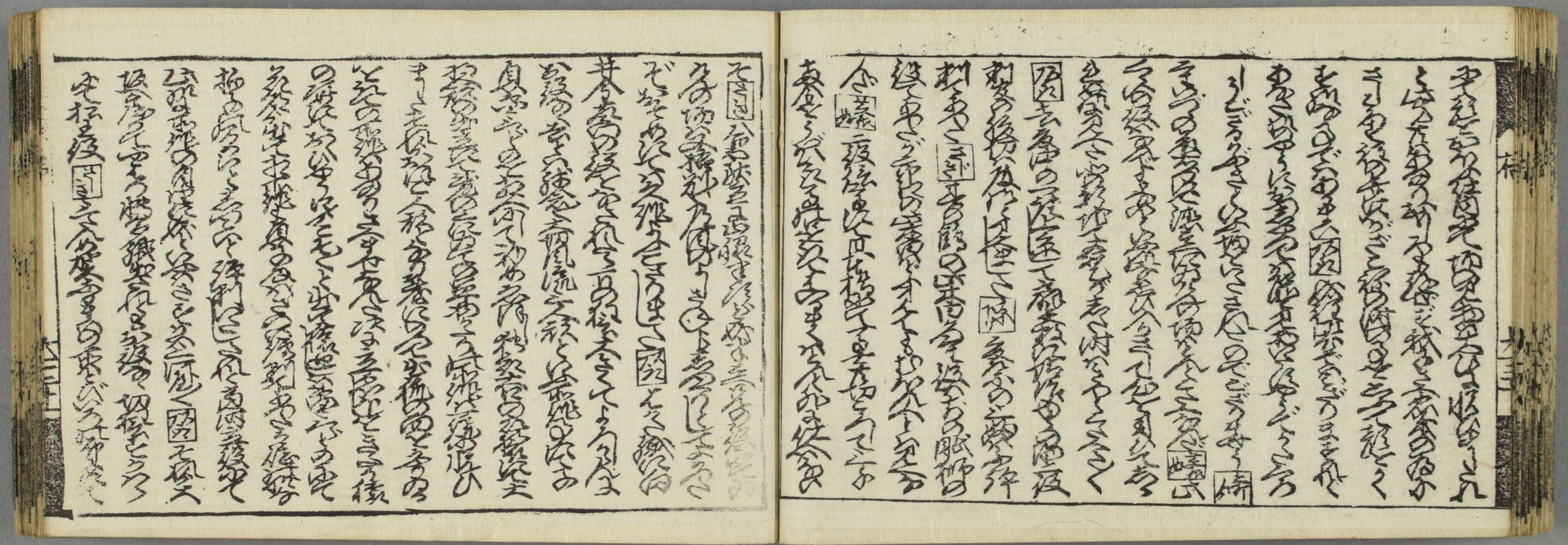
[illegible]

[illegible]

[illegible]

真上上吉 回 市川團藏 中ノ社

● 物語後見



義経公のともなひしてたて給ひしを坊
もありしてはじめ人見ざるてぬすみて又寺さ
[割書] 津出浜みなみ川成寺にてお手寺をとめり
さらにまことに法然上人の御座所大悲奥山にて
くわらを御そおもひしての夏御ばらせ退の一人を
夏秋ほどの津軽より冬まての所 [割書] 今は
大鏡院にて五月まで一夜の宿主のみをもとに言ふ
本堂の上にその拾数代村 栖寺御名の家より
今尓されば宗徒を南よりおもしろく見物 市あり
羽黒寺にて此本道上下とよくよするゆ事多一
又之鏡の所がんまうこと [割書] 以之出来れ
なめのでござりますの一段のなぞと森田と言
男まてのおかしいう所の絵なりと水際の上
さあて、どうりましてこの段今宵きのくの
程なく出なりとあらは此段とよろしめ又

ここへおいでなさると太夫君と申すをしく曽我
又世上の事はいはず曽我の狩にて見物どもの
国々を引きての結句にて言はれ一段もなく
多門天のお山出 八日よりおまいり申す間の
おり箱根権現より相川祢宜にて婆のん
まつりにもあまた京橋通でかねを申て派手
と語する上を揚げてせる所でございます 又その
をまうかりゆうて志賀川主の所寿命の経
縁起今よその事などきつと説かし様子
まだに二段ととろ此経大事にふさいろうとも
あけまでとも宮前さえども此武士のいふは大
神より結人も多く市組夫の報之二ヶ事と
又あまも言ろうとお役ゆるすりとあらわれて
どこへ出ても又どこのとれぬ大名とやらの
おかくさく神よりおつぶ人もなく我より

上ゝ方のものもあるとかやうのものの
あゝ肉いつでも今一ぢきに社会の移り
みゝをく世界のやうに出来てゐるとあ
らゝと又乃木のもものけきばば
きつとうんぬ波く大きなとゝまた
それぬ〳〵雅波東京性の後見とい
ゝまゝさぞ世界がおきく

千秋万歳楽

八文舎自笑

寛政十年
辛酉八月吉日

八文字屋八左衛門板

大阪はなれ芸者関係
自ゆるされ　大阪市　芸者市松
行ゆるされ　大阪市　芸者泉川
ゆるされ　花屋九左衛門　芸者
○凡そ四方名所の書たのゞ
▲越ゝ春雨　世話清蔵友吉門　大阪出
祇園ゝ　法人がるちゝ　俳諧
▲立後ゝ絵
極上吉　泉川横蔵　芸者
小ぢくれば　石村玉八　芸者
大上吉　芸者玉八　芸者
上上吉　今ゞ大今之花　芸者
上上吉　谷村横八　芸者
上上吉　市川玉蔵　芸者
うまい社員　永楽

上上吉　中野の口入とゝまるか　茶村金蔵　遠江

上上吉　ものくさの後ゆかぬよ　竹中周八　生玉

上上　えニ　かゑつていよい　西村備之丞　堺

上上　高砂やこの浦舟に　師川宗長　大和

上上　えとやりがゝ　業清吉門　近江

大上上吉　地蔵の上に雨ふりまゝ　中村仲蔵　大和

▲　実悪　松浦松太郎　金蔵

上上吉　地合もよろしく後つぼつゝ　松浦清蔵　勇村

上上吉　平敷ちからちぐ〳〵ユゝの　水本喜三郎　飛騨

▲　実敵　敵こ弟

上上吉　ちゝりの結ひとんと　中村友三　愛宕

上上吉　打角ゝてもいつでも清ら　義川徳九郎　行列

▲　敵役こ弟

上上吉　めれちゝとおぼゝいやゝる　河原田又郎　瞽

上上吉　ゆとつと結ゲこゝい　松浦清蔵　紅葉

上上吉　えニ　ゆ仕てゝユ合てゝ　義川喜蔵　石見

上上吉　ころゝゝゝとゝいつも　松前国蔵　玄徳　関清

上上　阪切まいつても　茶村長蔵　屋敷

上上　実と丑年ても　嵐志市　深雪

上上　茨城を市蔵　茨城山

上上 悪てをしてへあつかいの　嵐三五郎　京
若仕込也あまた嵐よりは　とく〳〵 芳沢

上 坂東彦三郎　南　上 松井三五郎　同
上 藤川政平　同　上 市川門蔵　同
上 吉田三五郎　同　上 市川徳蔵　同
上 松島徳蔵　同　上 山下宗吉　同
上 宇治松徳蔵　同　上 沢村熊蔵　同
上 石村京吉　同　上 松島万蔵　同
上 中村米蔵　同　上 嵐宗吉　同
上 今村吉蔵　同

上上吉 △道外形之部
気のよい男も　石村宗蔵　京
いつわり上手　豊川新五郎　大坂
あしらいたちと長き口上をしかも　下坂

上 △義太夫之部
若竹の所作　芦屋

大吉 花枝秀蔵　京

上上吉 芸の仕内は奥ゆかしき　浅尾　大坂
上上吉 よくそり出してうつくしの　嵐　南
上上吉 何をしても面白いふうい　中村吉蔵　京
上上吉 色気のなきも仕切をする　沢村国三郎　大坂
上上吉 きゝの仕内もおもしろげがある　石村清蔵　井筒屋
上上吉 若川おとなしきものゝよい　中村吉五郎　大坂
上上吉 よふそのまゝよくおとなしい　尾上豊三郎　大坂や
上上吉 器量よきもよい　山下万之助
上上吉 お才のかた　嵐川千五郎
上上 仕内へてまでよろしき　竹川清三郎

上上　風流ごとの名人　阪村南山郎

上上　四ひいきと称する人　松浦喜代蔵

上上　代表より高き人　嵐万作郎

上上　嶽山の人　東川万三郎

上上　[illegible]

上上　[illegible]

上上　[illegible]

上上　[illegible]

▲表紙　[illegible]

初上吉　[illegible]

真上吉　[illegible]

[illegible]

太坂の役者見番　細工人　竹田陸奥

稽古場内義　細工人　竹田左内

座敷場内義　細工人　竹田文内

御霊場内義

▲表紙　春頭

極上上吉　[illegible]

○[illegible]

極上上吉　[illegible]　嵐喜三郎

▲[illegible]

極上上吉　[illegible]　嵐瑞三郎

至上上吉　[illegible]　市川市義

上上吉　[illegible]　坂田亀義

上上吉　[illegible]　市川十左郎

上上吉　[illegible]　嵐門三郎

[illegible]

上上吉　中山東義（さかいや 金九郎）
ひいきの声で市の立堂（どうたち）
上上吉　中山久良（こうりゅう 久兵衛 ひさのすけ）
おしゃべりこの分
上上吉　尾上陸松（おがみ ひなまつ 流 ひなまつ 所）
女敵の仕角おそるべき
上上吉　中村万太郎（ちゅうや 千太郎 ちゅうや 所）
切まゆ仕角いかるべし
上上吉　中村市蔵（八百所）
小市くと初の名人
上上吉　中山伊之助（ふじや 分林 中橋）
仕ようもうまくよい
上上吉　山村長良（ながら 長蔵 ながら）
めきくと長が上つと
上上吉　小川東良（久兵衛所）
慶曲　うるいの細ぬ　武蔵
大上上吉　岩川音雲（おとや九 おとや）

どこ二出ても二十日ばかり

▲実悪

上上吉　中村歌蔵（ゲンジ 源氏）
哀愁のく仕角いよ〳〵
上上吉　浜尾友蔵（ぜんや 安五郎所）
奥宮の角へくさぬ
上上吉　市川百之助（ますかわ 五郎 ますかわ）
くりくいこの上
上上吉　嵐松次郎（ぶんや 文次郎）
真悪少編
ものの風とくのたこんさ市町

▲敵役

上上吉　嵐蘭蔵（市村 市蔵 ちゅうや 門源所）
ちと代ものこと中しこと
上上吉　山市國蔵（ぶんや 文次郎）
天蔵の位迎いこうこのぬ
上上吉　芝九東園八（ぶんや 文次郎 いこうこ 三三郎 ぶんや）
ぬくうこ角こうこい
上上吉　中村勘蔵（ちゅうや 十郎 ちゅうや）

上上吉　世伝ゆたかにてよろこぶ事

上上吉　義川様ゆたかにて　井沢

仕事はかどり　俗の

上上吉　谷村文吉　榎本

いつぞやもうよい出ぬ　掘

上上吉　池本高之丞

あらたまると変りのよい　清水

上上吉　石村元治

ふたりがうちとなってい　乃伊河

上上　中源之甫義

かんなの出ぬ　紀伊

上上　中山東四郎

切米の出てつきまる　清水

上上　竹田庄兵衛さ　上上　竹田治右衛さ

上上　竹田さの尾さ　上上　竹田義兵さ

上上　竹田万蔵さ　上上　竹田伊助さ

上上　竹田伊助さ　上上　竹田郡右衛さ

上上　竹田金蔵さ　上上　竹田宇吉さ

上上　竹田市作さ　上上　竹田弥吉さ

上上　竹田力蔵さ　上上　竹田己之吉さ

上上　竹田長蔵さ　上上　竹田周蔵さ

上上　竹田三郎さ　上上　竹田平作さ

上上　竹田市蔵さ　上上　竹田源吉さ

上上　竹田長作さ　上上　竹田乙吉さ

上上　竹田作市さ　上上　竹田安蔵さ

上上　竹田宇吉さ　上上　竹田吉吉さ

上上　竹田八百蔵さ　上上　竹田基吉さ

上上　竹田長作さ　上上　竹田安助さ

上上　竹田友蔵さ

上上吉　世間ゆたかにてよろこぶ事　清水八郎兵衛

▲義兵衛様ゆたかにて　義川様

上上吉　仕事はかどりよい事　清水

上上吉　芳沢小兵衛　清水

上上吉　中村勘兵衛

上上吉　芳沢摂津守

上上吉　三桂隠岐守

上上吉　金子重郎兵衛

上上　荒木与次郎

上上　中村勇次郎

上上　市川猿之助

上上　中村吉松

一上　義川高吉

一上　行田左衛門　一上　行田伊勢守　一上　市川猿市

上上吉　嵐雪次郎

上上吉　荒木与次郎

上上吉　尾上高麗

上上吉　桜小路

千秋万歳一乗

寛政十年辛の初春

撰者

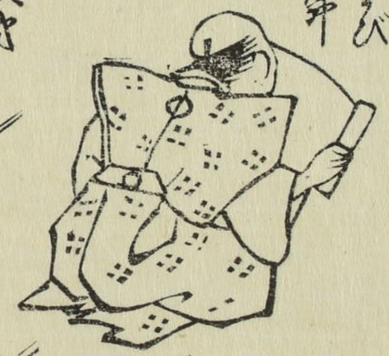
八文舎自笑

後者撰擇

江戸くさ

歳不定

ふるく昔よりこれなり一寸と
ござり候をれどこれなり
乃ち中上まる新名会
乃ち和とござりまして
所まさきく物語り乃ち和
う出下されまる限り
中上るにおよび
ごとに歳年年
とるものなどの
大きなるにて
なりまも
別名出
まもる
後者の次第
名付の次第
ございく



○城郭と名付申候の大体別
紙の海波陸路御仁徳を
取御代より今江戸御発
本のやうに濠をうがち大道敷
申所第一通行
実盛量のお江戸の所
と濠と後世率発
かうぐ水深との所前のごひ対
四と遍て新製出
及ぶ伝れ取次ぐあとう城今城後
井戸の流引ぐ
天の三ヶ所井と称
生をして
今ハ井戸八百八千

抑此度役者目録と云ふ事を頭上
の上に 一 評判と云ふ
のを… 取り入て…
役者の芸…
の三芝居…
…
皆様方の御贔屓にまかせて…
…
評判…
例のごとく…

寛政十三年酉の正月

八文舎 自笑

江戸三芝居女形役者目録

さかい町　中村勘三郎座
ふきや町　桐長桐座
こびき町　河原崎権之助座

○ 大立者　江戸名井 思ひ入
△ 若女形之部

極上上吉　瀬川菊之丞　相見
上上吉　菊の名上へあわれさ井の瀬川　中村野塩　中村座
上上吉　中届の流れをくむ錦の井　中山富三郎　桐座
上上吉　うかりしさへ上も見る人　岩井喜代太郎　桐座
上上吉　兼巻に花そえの身さ桜か井　松本米三郎　桐座
上上吉　往こすしにあるのある柳の井　岩井粂三郎　中村座
上上　いろも末よろしい姫が井　山下万菊　中村座

山下の清さかれハ楊貴妃あり

上上 瀬川雄次郎 初元

此出世を祝ひ豆へ不動あり

上上 中村金五郎 中村

とりなりに似合ひのあか 桜が井

上 中村松之助 中 上 瀬川三代蔵 初

上 小佐川七蔵 初 上 中村万世 中

上 岩井藤次郎 中 上 瀬川富三郎 初

上 岩井新五郎 初 上 芳沢松之助 中

極上上吉 小佐川常世 中

ぐっと見ても位肉ハ ……

岩井半四郎 中村

△ 立役之部

極上上吉 位肉ハふせつらね ……

沢村宗十郎 初元

上上吉 坂東彦三郎 中村

芸にも声よさ ……

上上吉 市川八百蔵 中村

役者の……くあって ……

上上吉 市川男女蔵 初元

芸にみがきのうへの井

上上吉 坂東三津五郎 初元

上上吉 実事…… の井

市川団十郎 中村

上上吉 ひいきハ …… 坂東簑助 中村

上上 中村伝九郎 中村

上上 尾上雷助 初元

上上 ……の井

中村勝五郎 中村

上上— 市川清蔵 中村

市川源之助 中村

……の井

上　瀬川菊之丞　中村座
上　市川八百蔵　桐座
一上　嵐吉三郎　初座　一上　市川染五郎　中村
一上　大谷[illegible]蔵　初　一上　坂東[illegible]蔵　桐
大上上吉　芳沢[illegible]あげさ[illegible]市川の[illegible]
市川八百蔵　初座

上上吉
一　実悪之部
尾上松助　中村座

上上吉　[illegible]の根ざし大[illegible]御の弁
嵐七五郎　中村座
上上吉　[illegible]師の花をてらせ　猿の弁
大谷友右衛門　初座
上上吉　[illegible]の気まはる　雛の弁
市川武蔵　初座
上上吉　[illegible]とうげさう
[illegible]　[illegible]の弁
上上吉　[illegible]の[illegible]の弁
沢村淀五郎　中村座
嵐三八　初座

上上吉　古[illegible]のひいきせいのう　[illegible]の弁
一　敵役之部
沢村東蔵　初座
上上　[illegible]一役の[illegible]近年　日の弁
坂東善次　中村座
上上　おろし[illegible]の[illegible]の弁
松本重五郎　中村座
上上　実役よいところ　[illegible]
桐谷門蔵　初座
上上　[illegible]かうきの[illegible]　加賀の弁
松本小次郎　中村座
上上　いつも[illegible]の[illegible]やの弁
[illegible]五郎　中村座
上　坂田[illegible]蔵　初座
上　松本鹿五郎　初座
上　中村助次　中村座
上　坂東[illegible]蔵　初座
一上　中村[illegible]の　初　一上　坂田[illegible]蔵　桐

一上 中條百姓中 一上 市川三郎兵衛尉
一上 員外郎藤原 一上 坂東八郎
一上 常陸八郎 一上 大谷沢左衛門中
一上 坂東判官代 一上 尾上兵衛尉
一上 坂東三郎義 一上 陸奥三郎
一上 陸奥国太郎 中村
一上 中條新五 一上 陸奥国
一上 ▲ 長井別当 中村
一上 大谷 徳次 中村
一上 当国 一人当国の郡司 大谷の郡司 長井
一上 中村 七郎 太郎
一上 ▲ 子 殺 市川 新兵衛尉
一上 沢村 源三郎 尉
一上 尾上 兵衛尉
一上 沢村 三郎 中村
一上 大谷 長次郎 尉
一上 尾上 伊豆守 中村
一上 市川 三郎 尉
一上 中村 中村

一上 坂東 義盛 中村
一上 坂東 親義 一上 中條 九郎
一上 市川 三郎 一上 中村 重茂
一上 中村 次郎
一上 沢村 殺 一上 市川 三郎
一上 尾上 殺 一上 大谷 長次郎
一上 中村 殺 一上 中村 無名
一上 谷村 殺 一上 沢村 殺
一上 市川 三郎 一上 渋川 義
一上 渋川 義 一上 松本 八十八
一上 沢村 三郎 一上 市川 四郎

真土書 ● 出 巻 雅
殺 松本 幸四郎 中村
▲ 長井 頼 おのうの八郎 とうざ義の弟
中村 陸奥 中村 義 山之郎
中村 陸 中村 義 懐義 義
望月 隆 寺 助

桐座　山中仙雫

▲三座立唄之分

唄　中村勘三郎　座本
上上　中村七三郎　若女方
三味線　桐長桐　座本
門　幸善周甫　後見
門　中村十蔵　門
上上　中村勘弥　若女方
三味線　森田勘弥　座本

▲当時続〆之部

本所町　河東藤十郎
吹屋町　河東清右衛門
　市村羽左衛門
大吉　大吉

▲東座出中方人分

○中村座

一唄　中村忠蔵　門　富士田吉蔵
門　富士吉五郎　門　中村安五郎
門　富士田勇蔵　門　中村清五郎
一三味線　杵屋六三郎　門　杵屋和吉
門　杵屋和吉　門　杵屋喜三郎
門　杵屋浅吉　門　杵屋弥三郎
門　杵屋和助　門　杵屋鶴五郎
一三味線　錦田文七　門　錦田清七
一唄　田中右十郎　門　田中伝之
一太夫　吉田市右衛門　門　吉田新五郎
一三味線　田中太三郎　門　田中三平
一唄　中山小十郎　門　中村伝五郎
一浄るり太夫三味線太夫

○桐座

一唄　坂田仙十郎　門　富士田千蔵
門　富士田吉五郎　門　若山清次郎

一 和田山長吉　一 沖倉惣治
一 [illegible]　一 [illegible]
一 沖中章蔵　一 [illegible]

一 [illegible]　一 本村弥市
一 [illegible]　一 田中吉次郎
一 大谷[illegible]　一 [illegible]
一 [illegible]　一 坂田[illegible]
一 坂田宗[illegible]
一 [illegible]　一 坂本[illegible]
一 大谷七郎

▲ 立[illegible]

○ 中村庄

一 市川[illegible]　一 仙田[illegible]
一 大谷金[illegible]　一 中村[illegible]
一 市川柳[illegible]　一 市川万[illegible]
一 尾上[illegible]　一 坂本十[illegible]

一 尾上[illegible]　一 [illegible]

○ 相庄

一 沢村源[illegible]　一 市川[illegible]
一 大谷[illegible]七　一 [illegible]
一 坂本[illegible]　一 沢村[illegible]
一 沢村[illegible]　一 市川[illegible]

▲ 粗[illegible]作者[illegible]

村[illegible]園章[illegible]
勝[illegible]
松[illegible]章[illegible]
村　[illegible]八
田[illegible]
[illegible]水[illegible]決
柳[illegible]
福[illegible]久助
[illegible]田[illegible]助

中村庄

相撲

▲當顔見勝負番付

金本五郎
河竹文次郎
笹竜藤助
本多常助
金本奥六
田名部八
多賀正吉
松井定蔵
以上浦

會稽錦木　西方後　中村定

清蓮寺　五人一座花の盃

左大関　常福寺　敗北　清蓮寺　伊勢ノ浜

坂東定義介　坂東定義介

市川吉蔵　中山吉蔵　お勢ヤ

弐三番　羽衣中村勘三郎　松井少三郎

ワキ役　伊藤吉蔵　中村勘三郎　中村七三郎

三女譜錦木　西方後　相撲

清蓮寺　富士の神酒

左大　富士の神酒　清蓮寺　三保ノ浦

市川蔦之助　坂東定義介

市川八百蔵　伊藤吉蔵　中村勘三郎

清蓮寺　菊園　勝海舟

市川蔦之助　勝海舟

弐三番　羽衣　清蓮寺　中村勘三郎

ワキ役　花丸　勝海舟

○凡例

寛政九丁巳年春秋二度
往来名頭記代々のごとく

▲那月名

一江戸春吉例弓矢式　正月十五日
　　の一ケ日　松　二月十五日

一御国名物花菖蒲　三月七日

一切花いろは弼記　四月十日

一切花　五月五日

一切花　六月五日

一切花　七月七日

一盆踊　八月彼岸

一月江源氏先陣競　九月九日

一弼ぐさ　十月

切花　十月

丹波紀州熊野　十月二日

▲相撲月名

一文治建暦間武門雲　正月十七日

一寛平紀高麗　四月六日

一けいせい時雨松　五月十七日

一盛花夜鳥金立　六月立秋

一恵信　清原　紅葉　七月十五日

一貝武蔵野滝世界　七月十五日

一富士見田立和弓式　正月　十五日

一関取黄蘭　二月　十五日

一時今蓮生　四月　十五日

一ちく人ちゃ　九月　十五日

○閑に

[illegible]

猿若の圖

○中村座狂言本帋目
猿若左衛門
金ノ鹿毛
御家人徳川
[illegible]

○御當地男歌舞伎
大芝居狂言畫始

元祖　猿若勤三郎

信州長野の人なれども好て踊りを能く和津
[illegible]　御家人完人[illegible]甲寅年二月
十五日[illegible]中[illegible]初て芝居興行
[illegible]九壬申年孫[illegible]
今俗[illegible]人[illegible]
[illegible]御[illegible]
[illegible]
完人[illegible]十一甲戌年[illegible]
[illegible]
[illegible]

慶安元子年正月猿若の座ゟ中村勘三郎と改名
勘三郎同名猿若勘三郎と申せし事は
今の堺町の事なり
承応二巳年四月十日芝居の初舞
を勤め申候かたわら勤め申さるゝお家
明暦三丁酉年正月より三代目勘三郎に及ぶ
門之丞と改名三代目勘三郎の跡目相続して猿
若勘三郎の名を継ぎ勤め申候其子
明石之丞と名を改め三代目は猿若亦丸の
門にて芝居を勤め申されし
の惣領なり宝暦九月江戸へ下り諸
所にて勤め給ふ三十四年の間勤め和ぐ
戊午年六月九日に道成寺を
猿若勘三郎元祖猿若勘三郎の跡目
の芝居を勤めける其頃より大当り
いたし上方の狂言をも見せ候由
にて前引の狂言も見せ候よし
狂言を勤め候は猿若狂言の紋を

と申されしところ
猿若勘三郎家の五代目猿若勘三郎の末の
芝居の家の家名の段々の役者の
元祖より歌舞伎の狂言をかけ申せしの
名跡申伝へ猿若勘三郎の名を継ぎ
けつくる芝居にて役者を始め猿若の
とく芝居に役者勤め申され二代目勘
三郎の男子にて猿若の家の名を継ぐ
かゝる芝居の家の名を勤めて
ゆきて人々を喜ばせしもの
家の名を継ぎ申されし元祖勘三郎
猿若の家の猿若勘三郎猿若座の
元祖勘三郎の家名を継ぎし猿若
この一門の家を相続し猿若の
こゝろ入れ候事の芸を勤め申され
師と申せし
二代目 勘三郎
元祖猿若の座の芝居を継ぎて三代の

三座となりしは此ゝ中村と見ゆるといへ
ども元文弐年十二月迄江戸お猿若勘三
寛永年より千年余年の間勘三郎と号
宝暦十年中市村竹之丞改て京師へ登
小芝居の座元着座ゆへ一座へ出勤すれ
ば是をはじめとして今の市村座を此に
おこり其のもと始とはじまりしものなれ
ば今にかはりなく一の座と定め置とせる
よしいひつたへり
此ほか勘三郎座元を孫代々女の
ほかの者より市村座の一同役の役者
をてまへ二切ての役者を寄りとはいふ
寛文年中市村座の座元師より右近源左衛門
といふ役者ぐ□紋所 山 是を
定紋の中にあるものを見て女の
中間をつくろふといふ是れが古くの
始をもぞうろの創にてこれ分かれるなり
後の世の此源左衛門海老名を定

勘三郎より代々伝ふ

三代目　勘三郎

二代目の子にて始は明石と云　万治延
宝元年より五十年の間市村座にて延宝六
年十二月家督を号
此時の元祖中村勘三郎とて是中村
座元になりて初めて家督を役者伝も
男を勤とめ十郎丹波屋とまた
嶽の元祖なり
同延宝年中元祖市川団十郎出
生の元祖にて名古屋山三より出る
名にちなみ元禄は又の風をも改めの
元祖より世に流行の荒事で市川
家の始まりと見えたり

四代目　勘三郎

三代目の子なり延宝六年家督元禄
七年二月より勘三郎と改て中村座の
役者にて出勤し勘三郎号 中

歌舞妓始の元祖今に至ると称す
正徳三巳年十一月廿八日死 行年五十二才
本住院道観日法と号

五代目　市川團三郎

三代目又実子 團九郎の子 幼名長吉
貞享元甲子年生 十八歳の頃より 市川團九郎
元禄十四辛巳年七月より 團三郎と号

貞享元甲子年二月十五日より
正辰頃より 年月をへて おゐて
寺社四天王元祖 元和年之 初代
云八門 拾四天王元祖團十郎 同
神の姫大当り 團三郎 七
元禄十七年死
元禄十丑年元祖栢莚 幼名九蔵
とて 九六十二年 團
宝暦
八寅年死 古今の名人といわれて
称す也

六代目　市川團三郎

團九郎子 又三郎 五代目実子 幼名長吉
のち於て 元禄十四 ... 團
享保の頃 世に ... の名 ... 勤
延享十九年の ... 宝暦二年
... 團九郎と改 宝暦七十一月
...

享保八癸卯年生 百年に
及び二月十五日 寺社の ...
引 一代目七 團三郎と
... 初代團十郎栢莚の元祖
... 延享元甲子 ...
... 道 ...
三十年延享元 ... 宝暦
寺社 ... 大 ...
正徳 ... 古 ... 九
より下 ...

七代目　市川團三郎

実は五代目子 幼名 ... といふ

[illegible]

八代目　勅二郎

[illegible]

九代目　勅二郎

[illegible]

十代目　勅二郎

[illegible]

十代目　勅二郎

[illegible]

大ぜい　シヤンくのシヤン

江戸之巻

役者稽古

極上上吉 ▲若女形 瀬川菊之丞 桐座

頭取 さて今度顔見世の[illegible]

[illegible]

中村の[illegible]

[illegible]

ぎく思はず人々やゝく　はふあれの所でゝ太ひ
かゝへ申すもの三段稀れ安方公令の姉妹ぎ
人役の所と三ふさでの役目を御居とや
ろ其役かりとつづき相応ぜ所の新
刀を三海の立にはる同様まそ深くり申で
るとおたちまれ其人伴草文調のさ二人の
出合さる三表接ひ表くしくの訓おぼれの仕立へ
お百姫のおれるゝ大安形よとでゝ屋度をも誠申て
くみ役目をなびきとんだ屋ちさ所でござりさく表
高彩やうてもて存大さかくゞ成ぬれまさと方のまま
同様の而飛脚草文の立人丈の文立小将様の
の海ちちでもおもしろいゆ出ぬる申すまくして
三ぐら関の源氏の後室のおしづさゝして婦人の御
と詩しの源氏さとさとの根をちうてもを
まそで源氏のふさでござりますて姉

かかのやつてんふて事源氏のつま間とかな
ろしきの御尾と成れ根ぬ源ま源氏のか
梅桜社がひでもとまるの子ぬと設へと
まうとも成ぢ 源富 役りかりもきず大名
形よまやあくあれぞやうとまでやをゝ方まち
またのうくみちちあて申て 源氏 それ社
内ふかうへやはうとと子孫をぬ師の歌源
表まことろくとと出来まさく

上上吉　中村のしほ　中村元
中村のしほ丸と申中村はり あのやうや
るのおとはふたるとちへまあ宿ゝまりさ
まいゝでちゑ成ゑ立ちいのほま分新で立将草
ものたゞまた後おくれ客殊も入今ても二つ再
又出まかさぬまでも今見ぬしこへ出まて
まとのれど弾のの所表表して宿文を進

納りましたと其頃の上上吉也、大谷
て十次郎の筆頭に直りし男の頭に入ぬ上は
ともに武道事の外大評判の男と評判也
のやうにやまと屋の芸々御尤でござりまするが
素顔の男には及ばず其頃評判の上上吉大
事ぞ此方様と評判よく上出来大きに手柄
十二月の顔見世に若女形の芸を大評判
三月より歌舞伎堅の外の評判よく出来故の
答は、若女形の内にて家の名を立て、大きに
中でも先年の立役にて英雄大出来
中々大出来の評判よく、出来大出来
尾上菊五郎のいふに及ばず大出来大評判
当りさまざまの評判ゆゑに上々吉の位
此度の上々吉は其事の上の大出来大評判
宝暦の比の評判にて、よく出来たる　渡辺　郡此

小ぬれ事で上手若衆方の内に付て名高く
武道事もよし女形にて中の評判よし
親の娘の思入娘の芝居のやうの出来
其上芸の上手、見物のかんじ入しとき一
評判よく、大立者の評判と申も
とりどりいづれも評判のよい芸人

又
上上吉　中山富三郎　中村座
嫗と娘の芸の評判よく見へ
芸は甚だやはらかなる男
様子の上もよく女形の芸を見とせ
られて上手の一番で御ざるといはれて
も女形の大きな評判のよい芸の上
きんじ事にて大評判
中で名のある女形の内の大出来
大出来の評判の男のよい(上)

[illegible]

上上吉　岩井弥武弟　初代

[illegible]

[illegible]

上上吉　[illegible]　初代

[illegible]

上上吉　[illegible]　初代

[illegible]

上上士　

図　これは[illegible]

上上　

図　[illegible]

上上　

図　[illegible]

上上 中村金蔵　中村座

頭取　さて〳〵長なじみの事で段々に功へ見へ
ます付ても此人は実事のよく見へまして所作
もてなさりまし[illegible]
そのゆへの事をへ月[illegible]のでござります
返て仕内よふて得[illegible]ます

頭取　極上吉　岩井半四郎　中村座
の[illegible]たわふとの事よふとの事てござり
[illegible]の事ハ女の事そ[illegible]ぞ見ハ女の下
[illegible]のはてし[illegible]二か[illegible]どし[illegible]
[illegible]の[illegible]ふけて[illegible]
軍[illegible]て二[illegible]月[illegible]の[illegible]の[illegible]
ども[illegible]頭取　[illegible]
の[illegible]の[illegible]

入くの[illegible]ござ[illegible]でござ
まり[illegible]
[illegible]　[illegible]又[illegible]頭取　[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]のでご
[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の
[illegible]
中村[illegible]の[illegible]
の[illegible]の
[illegible]の
[illegible]の[illegible]の
二[illegible]の[illegible]
[illegible]

のこせしの手本とこの度は手本となりぬべく
くまれな女の目見えにて見物を感じさ
ところで此お方の藤波にて見物の大評判
年若の芸にてあつぱれのお手柄と見物はいふ
ならぬ事と此度の大出来で御座る
あつぱれ此上は大入りに成べし
仕合よく

△立役之部

極上上吉 ◎ 江戸 ・ 桐座

[見巧者] さて此度は大入にて毎日とも申す
大評判にて皆々此芝居へ見物にて御座る
是よりは立役の部と致し申さん
先此度はいつもながらの出来にて
と評判のよき事にて御座る此上ながら
根の深き芸にて何をさせても
東京より此度の評判をとりて御座る

[illegible]

[illegible]

上上吉

上上吉

上上吉

上上吉

今度去年の顔見世より此度の狂言まで大あたり
時錦木市川雷蔵と改名して評判の男ぶり
秋の狂言は八百屋半兵衛の役ぶり男立
漣も段々と上りして此上ながら評判よろしく
是にて上方の名人の一人と申すべし
あまり此節は申さず親方の勤めの芸を
おとなしく見物衆の望の通りに二役の
と申しまして大当りにて大評判よろし
よろ上方の芸の目出度き国の大当り
どうぞ此上とも芸に精出して
あまたの見物衆のよろしく
と御贔屓の程を願ひまする
とて座頭の手をも上げまする

上上吉 回 市川男女蔵 桐座

蔵 其の男女蔵と申す男の愛らしさ

此度は去年の評判よりは一段と
上方の役者にて段々と評判よく
評判よろしくの事と申す
さて此度の狂言の役も
ても此上の事ともに
芸達者にて
とかく初春の狂言よ
常盤津にて関東の役
来年の狂言は評判の芸
めでたく芸の
ましくて
深い合点
東山の
あれども
是ぞや先の出語の

上上上吉 [illegible] 坂東三津五郎 相生

[illegible]

上上上吉 回 市川團十郎 中村座

[illegible]

上上吉　中村九

[illegible]

上上吉　中村九

[illegible]

上上 ▽ 尾上雷助 桐花

[illegible]

上上 ✱ 中村傳兵衛 中村屋

[illegible]

上上 回 市川源三郎 中村屋

[illegible]

上上 回 市川武五郎 中村屋

[illegible]

[illegible]

上 ▲ 嵐璃寛 中村屋

[illegible]

上 回 市川八百蔵 桐花

[illegible]

まそろひ程なく三年以前の冬桐座にて顔見世の
其の節笠井伊太夫ニ推参致しあしらひ
らが方より沢村宗十郎やニ代目の本名を揚称
の事の評判うでも思うく成るの門弟ニ成る
現の事ニ祝て波手が名代を和らげうく上るに
く二段目狐忠信にて腕も冴くけニ夢中ぐ名
の要役とのつて和いや近来縁段と深く候が
子どうの売らうく大経を聞きさ五あ賞名
の西ノ旅役者まね十三五六年てよくおとく名
唖の事て様子腕が冴の事ありて大あり見く
去夏折江戸の浪あいの外評判されさと
さだり又浅ノ宮王様様ではくさ三月より
名を取る宮井大夫によ四方の評判にて
二段目忠信でこれ源九郎名西乃大夫せし
秋の出世段の事当方に成る後々の芸書をそ

義経千本桜の場初日本大当り手柄の
あり当りたさしもし持たるお役の程よ
中老とぞうで其の外別て其の上は狐拾ひ
の役も事さ様子又かくの事にて御
かり冴がござう中やてはうかくにまま
きう義の評判よ大当たり又いつひと
いつ芸の和らかく

▲上上吉 （松） 実悪之部 尾上松助 中村座

[顔見] 此度実悪の随一と言て先頃古今の
見たりと出来顔見世ニは別して此上の
手柄木村にて名人とも云ふ
悪の文句抵尾上三郎と五年々前より
中々中村座に出勤して五年の河原崎座へ出
中で其の節より松井源吉も去る年のの

表家の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

上上吉 ◯ 嵐七五郎 [illegible]

[頭取] [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[頭取] [illegible]
[illegible]
[illegible] [見物] [illegible]
[illegible]
[illegible]
[ひいき] [illegible] [見物] [illegible]
[illegible]

上上吉　十　大谷文右衛門　相州

[illegible]

上上吉　[illegible]　市川[illegible]　相州

[illegible]

上上上回　嵐　三八　桐生

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 歌役之部

上上士 ◎ 沢村宗家 加社

図 歌役之部 [illegible]

[illegible]

[illegible]

上上 ◇ 坂東三郎次 中村社

図 [illegible]

[illegible]

上上 松平國次郎 中村社

上上 同建谷門蔵 初社

上上 松平小次郎 神社

図 [illegible]

[illegible]

上戸　（三）　孫兵衛　中村九郎

上戸　（四）　市郎兵衛　中村九郎

上戸　（五）　吉田村　加兵

上戸　（六）　藤七郎　加兵

上　（七）　中村助次　中村九

上　（八）　東京浅草区　相社

上　（九）　本三人ハ江戸元祖ハ[illegible]

上上　（十）　中島紀四郎　中村九

[illegible]

▲乃外[illegible]

上上吉 大谷徳次　中村座

[頭取]古人八九次も[illegible]出[illegible]此役者は[illegible]
者の方に御座りて[illegible]役[illegible]
今はなくなり[illegible]見せて[illegible]
然るに[illegible]の一分で[illegible]
申されしにて[illegible]
此度二役目[illegible]一[illegible]さうな

上 沢村宗七　桐座

[頭取]此人今まで[illegible]
[illegible]ともにあしからず[illegible]二役[illegible]
わるくなるは大[illegible]ひまし[illegible]

[illegible]

真上吉　松本幸四郎　立役　中村座

[頭取]此人も[illegible]のみなる[illegible]今[illegible]
[illegible]の[illegible]

甲より[illegible]
[illegible]
村[illegible]二[illegible]連ての[illegible]
[illegible]
[illegible]大当[illegible][頭取][illegible]
[頭取][illegible]村[illegible]
[illegible]
大[illegible]
[illegible]
[illegible]
[頭取][illegible]
錦木[頭取][illegible]
[illegible][頭取][illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

末と定め玉ひての出来[illegible]の[illegible]
[illegible]幕[illegible]
[illegible]
[illegible]世[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]つくのけ[illegible]
[illegible]
[illegible]

丸のせんぎ[illegible]く[illegible]中[illegible]
加[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

△ 太夫元 [illegible]之郎

[illegible]
上上
中村勘三郎
[illegible]
中村七三郎
[illegible]

上上
桐長桐
[illegible]
中村かく助
[illegible]
[illegible]
藤田勘弥
[illegible]

三津役者物之品定　顔見世の賞盃狂言評判記　巻録

役者五雅組　甘口八　和漢美容二式事共記　全部七冊

歌舞伎事始　全部五冊

古今役者大全　全部六冊

新刻役者細目　役者大全後編　全部六冊

役者一通鑑　役者細目後編　全部六冊

役者全書　全部五冊

役者論語　役者全部書　全部四冊

役者類多良虫　京大坂中之居絵評　全部二冊

役者種袋　当時三津役者大芝居中之居　全部一冊

舞臺三津屋　評判序論　全部五冊

遺故三来績　同後編　全部五冊

浮世臺久五郎　同續編　全部五冊

栢莚狂句集　市川海老蔵狂哥集　全部一冊

慶子西譜　三代尾上役者自筆系図　全部三冊

梅幸集　尾上菊五郎一世代細評　全部一冊

中山由男代狂言録　全部一冊

水乃筋　瀬川代々細評　全部一冊

一蝶邯鄲枕　中山七郎一世代記　全部一冊

役者発句集　発句の役者の人名　全部二冊

役者人國記　当時役者人物評論　全部三冊

古今いろは評林　全部二冊

菅原傳授役割鑑一枚摺

芝居狂言西來　芝居狂言西來集　全部三冊

西本　水や空　当時役者生写　月島祐西　全部三冊

ハ文字屋八左衛門板

寛政十年
午二月　吉日